

一般研修カリキュラム

コース番号	コース名				期 間		
8329	訓練場面での行動観察による 特性把握と対応法				令和5年12月 6日(水)~12月 7日(木)		
開催会場	国立職業リハビリテーションセンター（埼玉県所沢市）				定員	日数	
					12	2	
研修種別	訓練の過程	訓練管理	キャリアステップ	ステップ2	訓練の要素	受講生管理(指導)	
研修のねらい 及び 到達目標	<p>精神・発達障害等のある訓練生が円滑に訓練受講できるよう、訓練場面での訓練生の作業状況を観察し、訓練生の特性を把握するとともに自己認識を促し、対応法を習得します。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練場面での作業のやりにくさやストレス・疲労等の特性把握ができる ・訓練生が作業を通して対応法の習得するための支援ができる 						
最低限 必要な知識	基本的なパソコンの操作ができること。						
研 修 内 容	項 目 (予 定)				講義	実技・演習	
	1 精神・発達障害等のある訓練生への効果的な訓練の取り組み (1) 安定した訓練受講の取り組み (2) 対応法の習得に向けた取り組み				0.5 H		
	2 訓練生の作業を通じた特性状況や現れ方について (1) 気になる行動や動作 (2) 背景にある原因				1 H		
	3 行動観察の概要 (1) 行動観察の視点 (2) 記録と考察				0.5 H	0.5 H	
	4 訓練場面での行動観察演習 (1) 演習課題の概要 (2) ロールプレイング				0.5 H	3 H	
	5 対応法の検討演習 (1) 行動観察 (2) 考察 (3) 相談 (4) 対応法の決定 (5) ロールプレイング				0.5 H	5.5 H	
				3 H	9 H		
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	精神・発達障害等への効果的な訓練の実現に向けて訓練場面での「困っていること」や「作業のやりにくさ」を把握し、それらを解消・軽減する対応法の習得に向けた支援について演習を通して習得します。						
研修成果が 活用できる 職務	職務 1		職務 2		職務の内容		
担当教員 (ユニット)	国立職業リハビリテーションセンター						
使用する 機器等	パソコン (Win10 以降、office2016 以降)						
受講者が用意 するテキスト (予定)							